

Vモデル

安全関連部で使用するソフトウェアは、読みやすく、理解しやすく、テスト可能で、メンテナンス性が良いものでなければならない。ソフトのライフサイクルでは下図の V モデルに示すようにソフトウェアの各活動と妥当性確認(validation)および検証(verification)がおこなわれる。

- ・安全機能仕様書を理解し、ソフトウェアの要求仕様書である安全関連ソフトウェア仕様書を作成する。
- ・実装するハードウェア、関連する機械類の機能、オペレータの操作、警報、保守など総合的に考慮してシステム設計を行う。
- ・必要なモジュールの設計をおこなう。既存のモジュールを再利用するときには要求仕様と合致していることを検証する。
- ・プログラムのコーディングを行う。
- ・上記の活動は、(下図)のようにそれぞれのステップに対応して検証(Verification)する。
- ・安全関連ソフトウェア仕様書は、要求内容と実現の方法が妥当であるか確認を行う。この活動を Validation という。

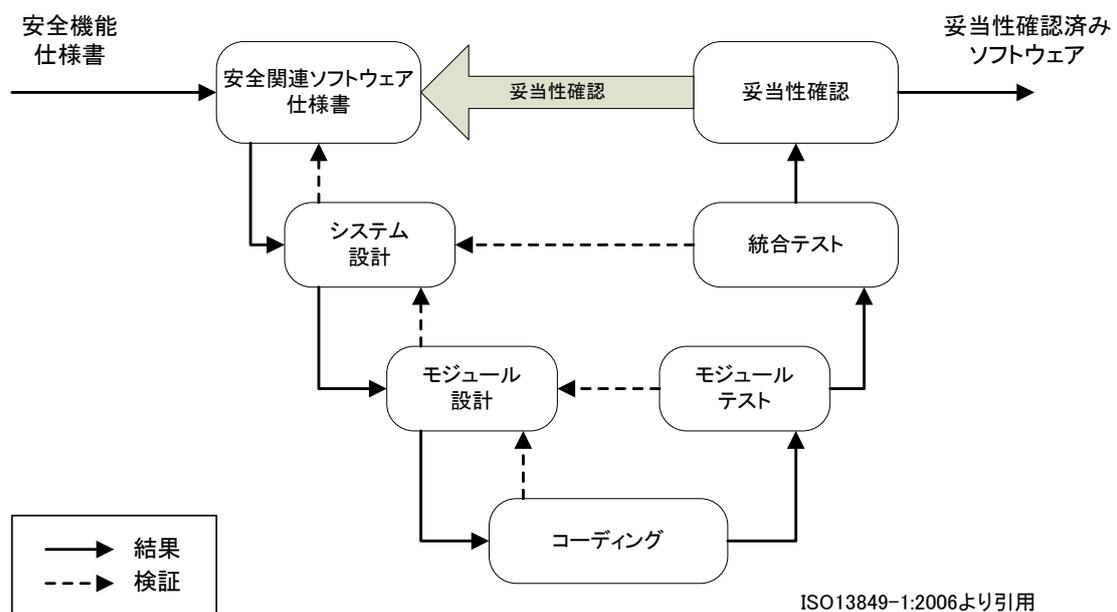


図 単純化したソフトウェアライフサイクルのVモデル